

評価項目		評価の視点	配点	倍率	委員点数	全体配点
共通事項	経営状況	・本事業実施に十分な事業規模を有しているか。持続可能性に問題はないか。	5点	1	5	35
	業務実績	・本業務の内容と同種又は類似の業務を行った実績はあるか。				
	業務運営方針	・本業務の実施に十分な組織体制、人員配置等となっているか。	5点	2	10	70
	執行体制	・本市や関係機関との連携やその役割分担についての考え方を整理できているか。 ・統括責任者や各業務責任者、業務従事員の実績、資格、能力は十分か。またそれに対する考え方は適切か。 ・危機管理体制やスタッフの研修体制は十分か。 ・地域貢献に対する考え方は十分か。				
	業務工程	・契約候補者選定後から業務開始までの準備に無理がなく、スケジュールも適切であるか。 ・契約期間後 3 年間の業務工程は効率的かつ実現可能であるか。	5点	1	5	35
業務仕様	投票等運用業務	・業務体制及び業務執行計画は適切か。 ・投票等運用業務に対する考え方は十分か。 ・投票関連機器の保守対応は適切か。 ・投票運用及び資金や売上等の管理は体制は適切か。	5点	3	15	105
	場内サービス業務	・業務体制及び業務執行計画は適切か。 ・接客に対する考え方は十分か。 ・お客様が満足できるサービスが提供できるか。 ・有料指定席でのサービスに対する考え方は適切か。	5点	3	15	105
	警備業務	・業務体制及び業務執行計画は適切か。 ・警備業務に対する考え方は十分か。 ・警備員の資格や能力は十分か。 ・本場及び周辺警備等との連絡体制は十分かつ適切か。	5点	3	15	105
	清掃業務	・業務体制及び業務執行計画は適切か。 ・清掃業務に対する考え方は十分か。 ・清掃員の能力は十分か。	5点	3	15	105
	独自提案	・仕様書（案）に規定する業務以外に効果が期待できる追加サービスや独自のノウハウの提案があるか。 ・今後の運用業務に関して、仕様書（案）以外に効率的な業務につながる提案はあるか。	5点	2	10	70
価格	見積額	・見積額は適正か。	10点		10	70
合計					100	700

【最低基準】 合計点の 6 割を最低基準とする。100点×7人×60％＝420点

【事務局審査】 全提案者のうち、最低見積額を提示した提案者を10点とする。

それ以外は次の演算によるものとする。

10点×（最低見積額／見積額）

※整数未満切り捨てとする。